

泣かない人

綿本一仁

大阪府・32歳・自営業

これからどんなに楽しい事があってもあなたがそばにいないと思うと、綺麗な夕日を一
人で見ている、そんな気持ちになります。

お元氣ですか。会えなくなっただれ程の時間が流れたのでしょうか。僕はあれからずっとあ
なたの面影と共に生きています。僕を思いだす事はありますか。

よく二人で行ったあの波止場に教会が建ちました。初めて二人の将来を話したのはあそ
こでしたね。何も無かった場所なのに、時は街並みも変えて行くんですね。でもあなたと
生きた宝物の日々は今も暖かく僕を包んでくれます。先日懐かしいビデオテープにあなた
の声と姿がありました。最後の日、あなたがこの部屋を見渡して出ていったあの目を思い
だして涙が止まりませんでした。「誰もあなたの代わりは出来ない。あなたと生きて行く」
と、あの時素直にそう言っていたら。くやしくてくやしくて、後悔ばかりしています。

あなたがどれ程僕を大切に思っていてくれていたか、今は分かります。あなたがどれ程

強くあろうとしていたのかも。あなたは泣かない人でした。僕の前では泣かないと決めて
いたんですね。あなたが部屋を出て行った後、僕は追いかけていったんです。車の中で泣
いているあなたの姿を見ました。強くやさしいあなたの意地だったのでしょうか。そう思う
と声を掛けられませんでした。

今でも僕はこの部屋であなたの思い出と暮らしています。もう戻る事はない。それぞ
れの道を歩いていかなければ。いろんな事で自信と誇りをなくしてしまっただけで、また
一歩づつあなたに愛されていた自分に近づいて行きます。あなたといた頃の僕は、あなた
に負けまいと輝く事ばかり考えていました。それがどれ程素晴らしい事であったか。

僕の最愛にして最高の好敵手へ。もしも時が戻せたら、二度と放しはしない。ずっとあ
なたと共に生きる。愛しています。今でもそしてこれからもずっと。

※学生時代から一緒に暮らしていましたが、捨てきれない夢のため別れてしまいました。彼女は
僕の夢の事をよく理解してくれていたのですが、僕が小さな事で意地をはってしまったのが別れ
てしまう事につながってしまいました。お互い住む街も遠くはなれてしまいました。